



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2017 年 1 月報

- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「明日に向かって、今日動こう」
- 北東部長主題 「明日のために、いま土台を築こう」
- クラブ会長主題 「笑顔で今活動を」～出愛・ふれ愛・学び愛～

会 長 吉田一恵
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 田中京子
 メネット会長 田村成子
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「新しい歌を主に向って歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。右の御手、聖なる御腕によって主は救いの御業を果たされた。」

詩編 第98編1節

1月の例会

【新春4クラブ合同例会】

日 時 : 1月17日(火)

18:30~20:30

会 場 : 伊達のいろり焼

蔵の庄総本店

内 容 : 4合同新年例会

司 会 : 高松成士

会 費 : 4,000円

11月例会報告

在籍者	18名
出席者	12名
メイキャップ	1名
ゲスト・ビジター	2名
メネット・コメント	1名
出席率	72.2%
ニコニコ	24,000円



巻頭言「年頭所感」

岡 久雄

新年あけましておめでとうございます。

私が若い頃は、正月元旦に歳が一歳増える、所謂数え年が通用していたから、それを適用すると私は今年で93歳となる。本人が吃驚するような高齢者となったものである。

昨年後半は足腰の痛みで歩行もままならず、このまま寝たきりとなって、愈々人生の終いかと観念した時もあったが、最近の医学の進歩に支えられ、正月には何とか歩けるようになり、皆さんのお支えに感謝している。

さて、今年はどんな年になるのであろうと、皆さんと同じようにと考えるが、どうも分からない。何か世界中に大きな時のうねりが押し寄せて来るような不安を押さえ切れぬ。その一番大きな原因は、かつて世界中が意識していたグローバリズムへの反動かも知れない。

人類が社会を形成するようになってからでも、長い間弱肉強食の歴史が続いていた。その後、人口が増え文化が発展するにつれて、共存共栄の知恵が生まれた。それは寛容と許しの精神によってこそ成し遂げられるものであり、まさに、イエスキリストの教

えそのものである。

20世紀の激しい戦争を経験した反省から、世界は平和で共に生きる道を望んだ。グローバリズムの

出現には、そのような願いも見えていた。

然し、期待に反し、グローバリズムの名のもとにあっても、なお、自国の益を優先し、相手国の損害が見えないようになっていった。これは正に、罪に生まれついている人間の我欲のなせる業であろう。次第にグローバリズムより自国の利益を優先する風潮が強くなり、自由貿易反対、難民受け入れ反対の声も高まってきた。

米国大統領選挙で、予想に反しトランプ氏が当選した事も、そんな世間の風潮の反映であろう。共存共栄より自国優先をあえて主張したトランプ氏の、今後の政治動向が大変気になるところである。

一方、今日世界で戦禍が収まらない所は、全てと言ってよい程、イスラム教の盛んな国家である。私も東京で、イスラム教のモスクを訪問し、彼らと話し合ったが、その時彼らは、コーランにある教えでは、アラーの神は、人類の平和を望むものであり、その為の日常生活の規範を示している。シーア派だとかスンニ派などと主張し合うのは、イスラムの一部による権力争いであって、あれがイスラム教ではないと強く主張していたが、何時までも続くイスラム教国家内の凄惨な争い、そして他宗教信者への残酷な処刑などを見ていると、彼らの言い分を信じることは出来なくなった。

新年早々こんな暗い話ばかりで申し訳なく、何か明るい話題はないものかと考えているが、中々見つからない。然し私たちワイズメンは、どんな辛い時でも祈り希望を失わないよう努めてきた。

出席率が悪く、迷惑をかけているが、早く足腰が元のように回復し、仙台YMCA会館の二階への階段が楽に登れるようになり、皆さんと話し合えるようになりたいものと切に願っている。

未だ完全には復興していないあの東日本大震災での、そして昨年、熊本地震、糸魚川大火などで被災された多くの方々の上に、一層の神の恵みとお支えとがありますように祈念しています。

1月の強調月間「IBC/DBC」

「IBC」(International Brother Club) 国際兄弟クラブは特定のクラブ同士が外国のクラブと兄弟クラブとなる約束をし、永続的な交流を続ける事です。それにはクラブ同士が事前に十分な準備を行い、国際 IBC 事業主任の認証を得た上での交流を行う事です。「DBC」(Domestic Brother Club) 国内兄弟クラブは国際兄弟クラブにならない、国内の特定のクラブ同士が兄弟クラブとなる約束し、交流を続けることです。また東日本区、西日本区の発足により東西の締結が促進されています。

12月例会報告

日 時：2016年12月20日(火) 18:30~21:00

会 場：仙台YMCA・3階 実習室

出席者：今澤・牛尾・小幡・工藤・鈴木・佐々木・高松・田中・田村・田村メネ・中川・横倉・吉田

ゲスト：佐藤潔子さん、鈴木沖さん

内 容：

会場は仙台YMCA・3階の実習室。特注のクリスマス弁当をメインに、司会は佐々木絹子さん、一部は礼拝。はじめに讃美歌109番を歌い、聖書朗読に続き、工藤ワイズより「クリスマスの音楽あれこれ」と題しての感話。偶像を作るのはやめて音楽を大事にしてきた歴史について語られ、あいだに持参のCDから数曲を聞き、聖書の言葉をそのまま詩に充てられた曲、メサイアで結ばれ、お祈りの後、讃美歌112番を歌い、黙禱にて一部を終了。

二部祝会。吉田会長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、



会長挨拶では「寒さも和らぎ例会を後押ししてくれているようです。EMC強調月間ですが、これからも皆さん友知人を是非お誘いください。今日は久しぶりに佐藤潔子さんにもご出席頂きました、積もる話もあるかと思ひます…」と語られた。ゲスト紹介では佐藤潔子さんから「久しぶりに皆さんとお会いでき、とても嬉しく思います」と、お馴染みの鈴木沖さんはメンバーのように座しての紹介。また、メンバーで1年ぶりの出席が叶った、牛尾ワイズからと、体調を崩されこちらも久々に出席の田村ワイズから、それぞれ元気な旨の挨拶があった。

小幡ワイズの食前感謝の後「カンパニー！」。皆さんからの食べ物、飲み物に舌鼓を打ちながら、しばし歓談の後、恒例のオークション。佐々木絹ちゃんの軽妙な捌きにて、貴重な献品を、皆さんの協力により、それぞれ高値で買って頂きました。売上額は33,800円でした。この売上金に加算され10万円を国際地域協力募金に献金されます。

そして司会者の上手な導きにより、出席者全員から一言のスピーチがあり、連絡報告、ニコニコと続き田中会計のホットな閉会挨拶を受け、閉会点鐘でお開きとなりました。

尚、昨年に続き牛尾さんからニコニコに1万円が献金され、ニコニコ合計は24,000円でした、皆さんに感謝申し上げます。



石巻広域クラブクリスマス例会

中川 典幸

昨年の12月9日に、石巻広域クラブの第1回クリスマス例会が、石巻市千石町のレストラン「いち」で行われました。

当日の例会では第一部で礼拝を行い、第二部では、阿部かよ子さんの入会式が行われました。第三部では祝宴が行われ、石巻広域クラブメンバーとの交流が深まりました。

石巻広域クラブの今後の活躍が期待されます。



仙台YMCAの保育園

高松 成士

新年あけましておめでとうございます。ワイズメンのみなさんには、穏やかなお正月を過ごされたことと思います。



仙台YMCAは市内3地区に3園を設置運営しています。さて、その保育園ではどのような特長があり、どのような考えの下、保育が行われているのか？「保育所(園)」と「幼稚園」の違いは？などなど小さな謎を解き明かせればと思います。

まず初めに、基本的なことで「保育所(園)」と「幼稚園」との違いは、を説明したいと思います。

「幼稚園」とは、満3歳から小学校就学までの幼児を教育し、年齢に相応しい適切な環境を整え、心身の発達を助長するための教育施設。「保育所(園)」とは、保護者が労働や疾病等で保育する児童を預かり、保育することを目的とする通所施設。と説明できます。ここで教育施設と通所施設という区分がありますが、教育施設も「通所」が普通ですので「通所施設」とい単語にとられる必要はないと考えています。私の中では管轄省庁の違い程度です。また、「保育所」は総称であり、YMCAでは「園」という施設名をイメージで使用しているだけです。更に、「保育」とは、『乳幼児を適切な環境のもとで健康・安全で安定感をもって活動できるように養護するとともに、その心身を健全に発達するように教育すること』との定めがあり、「教育」に「養護」が加わっているのが「保育」であり、教育以上の働きと範囲を保育所は担っているという自負の下、保育園を運営しています。

続いて、YMCAの保育の特長ですが、①環境にやさしい生活、②キリスト教保育、③異年齢保育、④和食中心の献立と調理の工夫、⑤障害のある子どもたちと共に生活(障害児保育)、⑥子どもも保護者も職員もみんな平等(職員を「〇〇さん」と呼ぶ)などがあります。この中から「環境にやさしい生活」について少し説明させていただきます。

YMCA保育園では安全な手洗い用石鹼(分解して自然に戻る)を使用している他、赤ちゃんの肌を石油製品(紙オムツ)から守るといった目的で布オムツを使用しています。布オムツを使用することでオムツ交換に紙オムツより時間を要することは事実です。「面倒だ」「大変だ」と紙オムツが主流の現代ですが、“時間を要する”ということは子どもと1対1で関われる時間が増え、結果、赤ちゃんの安定した中で情緒面を育てることができるというプラスに考えています。0歳児は1日10回~12回程度のオムツ交換を行います。一人ひとりに多くの時間関わるように努めています。また使い捨ての紙オムツよりも繰り返し使用できる布オムツは最終的には経済的にも安価で済むと言えます。しかし、洗濯という家事が増えてしまいます。ですので、ご家庭での使用もすすめていますが強制まではしていません。「子育ては大変なもの、ご両親の苦勞をお子さんに返しませう。それも一つの親孝行です。」との理解をいただいた上で、YMCA西中田保育園では入園していただいています。地域的な観点からレンタルも行っていない。



「布オムツはオムツ離れが早い」と良く言われますが、布オムツの濡れた後の冷たさと気持ち悪さ(中にはその感触を楽しむ子どもいますが)を体験し、トイレトレーニングの成功体験から「オムツ離れが早くなる」のです。赤ちゃんが泣く理由は「お腹が空いた時」「眠い時」「お母さんと離れる時」「オムツが気持ち悪い時」などでしたが、紙オムツに慣れている赤ちゃんは“気持ち悪い”を経験しません。赤ちゃんの経験不足が「オムツが外れない」という結果を生む一因ともなっています。しかし、子どもたちの育ちは個人差があります。一人ひとり大切な個性もあります。決してオムツ離れが遅いことを“悪”と捉えることのないように注意いただきたいと思います。

大切なことは、紙オムツであれ布オムツであれオムツ交換を頻繁に行い、保護者(特に母親)と1対1の時間をできるだけ多く持つことです。母親との関りが最も安心できる時間です。最近の紙オムツは性能も良くなり排泄しても一晩交換しなくても大丈夫(蒸れない)なものになっています。しかし、多くの保護者は休日の日中も長時間交換することがなく紙オムツで過ごすことを選択している方が多いようです。赤ちゃんとも母親と共に、穏やかな時を自由に持てる社会がYMCAの目指す世界の一つです。

「心がけている数字」

所沢ワイズメンズクラブ 小野塚 勝俊

私が日々、心掛けていた数字の1つに【100】というものがあります。これは、『100センチの視点を大切に』という意味を持っています。100センチとは、子ども達の目の高さ、車椅子に乗っていらっしゃる方の目の高さ、そして、杖を使われている方の目の高さです。社会の中で弱い立場にいらっしゃる方々の目の高さです。44歳で健康な日々を送らせて頂いている私にとって、つい忘れてしまいかねない目の高さ、だからこそ決して忘れてはならないと思っています。

社会は、強い方はより強くなり、弱い方はより弱くなってしまいがちです。しかし、今、強い立場にいらっしゃる方も常に強くいられるわけではなく、いつ弱い立場になるか分かりません。弱い立場にいらっしゃる方は、自分自身のことでもあると思うのです。100センチの視点は、誰もが幼い時、その目の高さを経験しています。また、車椅子や杖の頼りになれば、再び100センチの視点を体験します。175センチの身長ですが、しゃがんだ時の目線が約100センチになります。私は、この100センチの視点を大切にこれからも日々生活してゆきたいと思います。

わたしの好きな言葉

「気づかい 気づき 思いやり そしてほどほどの距離」

田中 京子

10歳で仏門に入った荒了寛（あらいょうかん）さんの言葉です。私は特に大人になった自分の子供たち（43、42、36歳）には、思いやりを持った上で、ほど良い距離でと心がけています。人間関係すべて姉妹や友人とも相手のことを考えながらよい距離で良い関係でいたい。そして、気づかい、気づきをもっと出来る人になりたいと思います。



1月第2例会報告

日時：2017年1月5日（木） 19:00~20:30

会場：仙台YMCA立町会館 2階カフェ実習室

出席者：田中・佐々木・高松・鈴木・吉田

① 1月新年4クラブ合同例会については次のとおり。

日時：1月17日（火）18:30-20:30

会場：伊達のいろり焼「蔵の庄総本店」 青葉区中央1-8-38 AKビル4階

会費：4,000円（メン・メネット共）

内容：楽しく懇親を深める 司会：高松成士

食前感謝、乾杯、閉会挨拶は他クラブに依頼する。

尚、誕生祝い品はクラブ毎に準備の旨周知することとする。

② 北東部主催ユース・リーダーズアクト「福島の子もたちと一緒に笑顔！」の確定事項について確認する。2月25日（土）・26日（日）宇都宮にて。各クラブ1万円の支援金を拠出する。

③ 1月東日本区ニュース（理事通信）の内容を会長が説明し確認を行った。なお、次期国際役員投票、及び、後期半年報報告については処理済を確認した。

④ 第2回東西交流会（2/4~2/5・東山荘）には、吉田会長が出席する。

⑤ 国際地域協力募金には今年度も10万円を支援することを確認する。

⑥ 1月ブリテンの各原稿提出状況と担当者を再度確認する。

⑦ 次期クラブ役員について討議され、次のように推薦があった。会長：横倉純、副会長：今澤智代、

書記：佐々木絹子、会計：田中京子、メネット会長：田村成子。

- ⑧ 茨城クラブ、稲本会長のお孫さんの心臓移植に向けての「ひろくんを救う会」について、同クラブの村田書記からのアピールメールが照会され内容を共有した。
- ⑨ 2月例会にはゲストスピーカーを招くこととする。

1～2月の主な予定

日程	内容
1月17日(火)	4クラブ合同新年例会 場所：蔵の庄総本店 時間：18時30分～
1月22日(日)	ボランティア「いちごワーク」 場所：山元町 時間：7時45分集合
2月11日(祝)	仙台YMCA全体職員研修

立町会館1階受付にて販売中!

国際地域協力募金 特別プログラム

和歌山特産品フェア

新堂みかん

全国に知られるみかんの産地「有田」で最も西の端にあるのが新堂地区。そして、全面南向きという豊富な日照量、潮風によって運ばれるミネラル、生産者の地まぬ努力によって「新堂みかん」というブランドが出来上がりました。

「有田みかんブランド」の中でも1、2位を競うほどの甘味があり、流通先は和歌山をはじめ、京都、滋賀、岐阜に出荷されています。関東をはじめ、東北には流通されていない「新堂みかん」。和歌山YMCAリーダーOGの実家が、「新堂みかん」の生産者という縁から、直接生産者へ注文し、出荷してもらっています。インターネットでは高値で販売されている「新堂みかん」ですが、破格なお手頃価格で販売します。

LLサイズ

5個 300円

健康教育部

国際地域協力募金 担当：増山、阿部、伊藤

編集後記

最近道路には雪が降り積もる日が多くなり、自転車で通勤しようか、歩いて行こうか、毎朝窓の外を見てにらめっこです。寒いのが苦手な私は春になるのが待ち遠しいです。

